

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	小学校校舎等建設事業			会計	款	項	目	大	小
				01	10	02	01	09	51
政策	03	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）		主管課	学校施設課				
施策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実		主管課長	大塚 昌浩				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	小学校児童及び教職員	意図	既存校における学級数の増加に対応することで、教育環境の基盤充実を図る。
事業内容	学級数の増加に伴い、既存施設では対応できない学校において校舎を増築する。（おおたかの森小学校・南流山小学校）			
事業開始から現在までの状況変化	つくばエクスプレス沿線の開発に伴い児童数が増加しているため、おおたかの森小学校及び南流山小学校において校舎増築工事を竣工しました。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	増築教室数		17	40	室	
②	校舎増築設計業務委託	2	1	1	校	→→	
③	校舎増築工事	1	2	2	校	→→	
④							
⑤							
⑥							

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	・児童推計は学校教育課が実施する児童の動態調査に依存。 ・つくばエクスプレス沿線開発地区は、児童動態の変化が急激で、施設設置計画の立案に苦慮している。
事務事業の総コスト(a=b+c)	109,780,740	1,082,462,680	1,466,330,800	
事業費(b)(円)	102,250,740	1,075,185,780	1,458,947,600	
うち一般財源	102,250,740	773,553,780	278,557,800	
職員給与費(c)(円)	7,530,000	7,276,900	7,383,200	
人役・職員(人)	1.00	1.06	1.10	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）	60			

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	工事費のコスト削減。	③取組の課題	児童・生徒が増加することに対する教室の確保。
②今年度(H29)に実施した取組	校舎増築工事（継続）及び校舎増築設計業務委託（継続）を実施。	④今後(H30以降)の改善計画	児童・生徒数の推計を注視して、教室が不足する場合は、学区変更を検討し、それでも教室が不足する時は校舎増築工事を実施する。